報道関係者各位

日本メドトロニック株式会社

2017 年 7 月 3 日

日本メドトロニック　薬剤溶出性ステント「Resolute Onyx™」を発売
Core Wire Technology 搭載で薄さと強度を両立し、
屈曲病変における通過性向上を期待

日本メドトロニック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：トニー　セメド）は、薬剤溶出性ステント「Resolute　Onyx™（リゾリュートオニキス）コロナリーステントシステム」（以下「Resolute Onyx」）（医療機器承認番号：22900BZX00186000、販売名：リゾリュートオニキスコロナリーステントシステム）が日本において 7 月 1 日付で保険適用となりましたことをお知らせいたします。製品販売は 7 月 10 日より開始予定です。Resolute Onyx は既存製品である「Resolute Integrity™」（日本発売：2012 年 9 月）と比較して優れた通過性向上が期待できます。

RESOLUTE　Japan 臨床試験の治験担当医師である齋藤　滋　湘南鎌倉総合病院総長・循環器科部長は次のようなコメントを寄せています。「「Resolute　Onyx」に新たに搭載された　Core　Wire Technology（コア　ワイヤー　テクノロジー、以下「Core Wire Technology」）は、屈曲病変における通過性の改善、さらに、優れた血管追従性や、より正確な位置へのステント留置を可能とする視認性の向上を目指して開発されています。Resolute　Onyx は日本において耐久性ポリマー薬剤溶出性ステントの新たなスタンダードの 1 つとなるでしょう。」

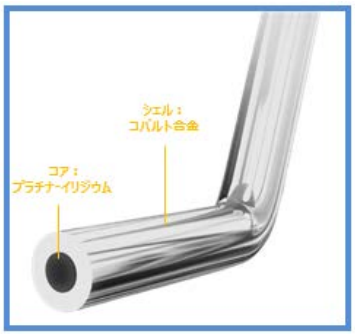
Resolute　Onyx　に搭載された Core　Wire　Technology は、金属密度が高く放射線不透過性に優れたコア（プラチナ−イリジウム）をコバルト合金ワイヤーと組み合わせることで正確な位置へのステント留置に不可欠な視認性の向上を実現させています。また、この技術により、ストラット（支柱）厚が薄くなった一方で、ステントが血管を放射線状に支えるラジアル強度を維持することにも成功しています。Resolute Integrity より引き継がれた Continuous　Sinusoid　Technology（コンティニュアス　サイナソイド　テクノロジー（連続正弦波形状技術）、以下「Continuous　Sinusoid　Technology」）は、1 本のコバルト合金ワイヤーをらせん状に巻きつけることでステントを形成させるメドトロニック独自のステント製造技術で、連続した可動域が実現し、柔軟で優れた血管追従性や良好なステント圧着を可能にします。Core Wire Technology は Continuous Sinusoid Technology に次ぐ新たな技術となります。

■製品の特徴

1. Core Wire Technology

金属密度が高く放射線不透過性に優れたコア（プラチナ-イリジウム）をコバルト合金ワイヤーと組み合わせることで、ストラット厚がより薄くなりながらも血管を支える強度を維持することに成功し、通過性も向上しています。また、視認性も向上し、正確なステント留置をサポートします。

Core Wire Technology：イメージ



2. Continuous Sinusoid Technology：連続正弦波形状技術

Medtronic 独自のステント製造技術であり、1 本のワイヤーからステントを成形させることで連続した可動域が実現し、柔軟で優れた血管追従性や良好なステント圧着が期待できます。

Continuous Sinusoid Technology：連続正弦波形状技術

連続した可動域（イメージ）

3. 豊富なサイズ展開

ステント径 2.25 ㎜から 4.0 ㎜、長さ 8 ㎜から 38 ㎜までの計 52 製品が揃っており、2.5-2.75 ㎜径のロングサイズ（34 ㎜と38 ㎜）が追加されるなど、豊富なサイズ展開により、医師の治療選択肢を広げ、複雑病変治療を幅広くサポートします。

Resolute Onyx™（リゾリュートオニキス）コロナリーステントシステム（販売名：リゾリュートオニキス コロナリーステントシステム）

医療機器承認番号：22900BZX00186000

メドトロニックは臨床医、研究者、科学者とのコラボレーションにより、心血管疾患や不整脈のインターベンション治療および外科的治療において、革新的な医療技術を幅広く提供しています。そして患者さんや医療従事者に臨床的かつ経済的な価値をもたらす製品やサービスの提供を目指しています。

【薬剤溶出性ステント（DES）について】

薬剤溶出性ステントは、虚血性心疾患に対する低侵襲治療法「PCI（経皮的冠動脈インターベンション）」で使用されます。心臓に血液を送る冠動脈の狭窄部（動脈硬化の進展により血行不全となった病変部分）を拡げるために留置して血流量を確保することと、留置部位に薬剤を溶出し再狭窄を抑制することがその目的です。

【日本メドトロニック株式会社 （Medtronic Japan Co., Ltd.）について】

日本メドトロニックは1975 年の設立以来40 年以上にわたり、生体工学技術を応用し、慢性疾患をお持ちの方々の痛みをやわらげ、健康を回復し、生命を延ばす医療機器を通して人類の福祉に貢献することを目指しています。Medtronic plc が提供する先端医療技術は、心臓疾患をはじ

め、パーキンソン病、糖尿病、脊椎疾患、脳疾患、慢性的な痛みなど慢性疾患を広くカバーしています。Web サイト http://www.medtronic.co.jp

なお、将来の業績見通しに関わるすべての記述は、メドトロニックが米国証券取引委員会に提出する定期報告書に記載されているようなリスクや不確定要素の影響を受ける場合があります。実際の業績は予想と著しく異なる可能性があります。